

# 日経225

# 10円抜きセミナーテキスト

ジャパン・ストック・コーポレーション

山口 真幸 著

徳山電子株式会社

小嶋 二郎 監修

## サンプル版

## たかが10円されど10円

## 驚異の勝率で市場を出し抜く!

【10円取るのに100円のリスクじゃ割に合わない!?!】



JAPAN STOCK CORPORATION

---

## 目次

### はじめに

目次 [ p.5 ]

### 序章 たかが10円されど10円

- 0-1 10円抜きを行う本当の目的 [ p.7 ]
- 0-2 10円抜きの最大の魅力とは? [ p.8 ]
- 0-3 実践で10円抜きを行うために [ p.13 ]
- 0-4 10円抜きの戦術を行う上での2つの明確なポイント  
— 売買のタイミング — [ p.14 ]
- 0-5 10円抜きの戦術を行う上での2つの明確なポイント  
— 値幅の問題 — [ p.16 ]
- 0-6 10円抜きで利益を出すために [ p.17 ]

### 第1章 デイトレに必要な二つのこと

- 1-1 投資を行う上で重要な売買のタイミング [ p.20 ]
- 1-2 投資を行う上で重要な値幅の考え方 [ p.26 ]

### 第2章 10円抜きするにはいくらあればいいか

- 2-1 スパンと証拠金 [ p.30 ]

### 第3章 出来高と時間的な推移

- 3-1 出来高が大きい4つのポイント [ p.34 ]
- 3-2 1日の出来高と1日の推移 [ p.37 ]
- 3-3 株的な発想以外の以外の人達の存在 [ p.40 ]

### 第4章 10円抜きトレーダーが犯す二つの過ち。

- 4-1 板は見ない!? [ p.46 ]
- 4-2 ローソク足は見ない!? [ p.49 ]

### 第5章 J式マーケットプロファイルの表記方法

- 5-1 J式マーケットプロファイルとは [ p.52 ]

---

## 第6章 実践10円抜き！

- 6-1 10円抜き推薦ポイントとその具体的方法 [ p.59 ]
- 6-2 注意すべき注文方法 [ p.64 ]
- 6-3 推薦ポイントの勝率 [ p.66 ]

## 第7章 10円抜きロスカットの方法

- 7-1 日経225先物と株の大きな違い [ p.70 ]
- 7-2 10円抜き実際の取引事例と、ロスカット（損失限定） [ p.75 ]
- 7-3 10円抜き実際の取引事例と、ロスカット（損失圧縮） [ p.78 ]
- 7-4 実践10円抜きシミュレーション [ p.80 ]
- Q & A [ p.84 ]

## 第8章 Mという考え

- 8-1 Mとは何か？ [ p.88 ]
- 8-2 なぜMを目指した動きをするのか [ p.90 ]
- 8-3 Mに収束されないで一方向的に動く場合 [ p.93 ]
- Q & A [ p.95 ]

終わりに [ p.97 ]

著者プロフィール [ p.100 ]

---

序章 たかが10円されど10円

## 0-1 10円抜きを行う本当の目的

「10円抜き」という言葉はご存知でしょうか？

10円抜きとは文字通り、  
日経225<sup>※1</sup>の取引で値幅「10円」を取るということです。

※1 正式名称は日経225先物。

なぜ、敢えて「10円」なのでしょう。

利益が出るのであれば、20円でも30円でもいいのではないか…？  
と思われるかもしれません。

実は、10円抜きを行うのにはワケがあります。。。

**10円抜きにはコツコツ10円を取って利益を増やすというイメージがあります。**

しかし「コツコツ取る」のはあくまでも、  
10円抜きの特徴を最大限に活かして、ある目的を達成するための手段に過ぎません。

10円抜きは、  
**目標値幅を「10円」しか取らない取引だからこそ持つ、大きな魅力があります。**

10円抜きを大いに活用していただくために、

まずは10円抜きを行う本当の意味について話したいと思います。

---

序章 たかが10円されど10円

## 0-2 10円抜きの最大の魅力とは？

10円抜きの1番の魅力って何だと思いますか？

「勝率が高い」ことでしょうか？

それとも、

「ロスカットの金額が少なくて済む」ということでしょうか？

あるいは、

「初心者でも簡単にできる！」（…あくまでもイメージですが）ということでしょうか？

いろいろな意見があるかと思いますが、

10円抜きの最大の魅力は、**時間的リスクが小さい**ということです。

この一言に尽きます。

ということかという、

一般的にエントリーしてポジションを持った後、

ポジションを持っている時間が長ければ長いほどリスクは大きくなります。

それは、

時間が長ければそれだけ株価が大きく変動する可能性が高くなるからです。

例えば、

オーバーナイトして1ヶ月、2ヶ月と注文を持っていた場合、

値幅はたいてい1,000円、2,000円はあるわけです。

うまくいけばいいですが、

投資を誤ってしまうと、1,000円単位で損をすることも十分に有りうる話です。

仮に100万円持っていたとしても、

たった**1枚の投資**で全部なくなってしまうということもあるわけです。

---

一方デイトレの場合、  
1日の値幅は、平均的に200円から300円程度です。

負けても200、300円です。

このように、  
投資をする時は、ポジションを長く持てば持つほどリスクが大きくなり、  
反対にポジションを持つ時間が短ければ短いほどリスクが小さくなる。という、

時間的リスクの問題があります。

つまり時間的リスクとは、  
「ポジションを持ってから決済するまでの時間に、株価が変動する値幅の大きさ」  
このことをいいます。

時間的リスクを考慮した場合、  
長い間ポジションを持って投資を行うのであれば、一度に張れる枚数は少なくなます。

反対にデイトレのように、  
“今日出した注文は今日中に決済する”というのであれば、一度の注文で枚数を増やすことが  
できます。

では、10円抜きはどうでしょうか…？

10円抜きの場合、  
目標とする値幅は最小呼び値の10円です。

10円抜きは、30円、50円、100円、と値幅を増やした時と比べると、  
エントリーしてから利食いするまでの時間が最も短くなります。

そのため、10円抜きは時間的リスクを最小限に抑えた取引であるということが出来ます。

ここが10円抜きのポイントです。

---

今回お伝えするエントリーポイントで、  
10円、20円、30円と値幅を増やした時の勝率と値幅の関係です。

値幅	>10円	>20円	>30円	>40円	>50円	>60円
勝率	96.28 %	89.67 %	80.17 %	76.45 %	70.66 %	65.70 %

※ 2008年1月4日～2008年12月30日（徳山電子株式会社提供）

※ 同値の場合勝ちにカウントしていません。10円の場合20円の値幅があつて勝ちとしています。“>”はその意味です。

表からも判るように、  
このポイントでは**20円を狙っても、約90%の勝率があります。**  
30円でも80%を越えています。50円でも70%以上です。

勝率が非常に高いエントリーポイントです。

10円抜きは負けると取り戻すのに時間がかかるため、  
まずは負けないこと、つまり**勝率が最も高いポイントでエントリーすることが第一条件です。**

しかしあなたはもう一歩進んで、

「うまく**値幅を取れば**、10円抜き以上の利益が出るんじゃないの…？」  
「だったら、このポイントで**10円以上の値幅を取った方が**いいじゃないか…？」

そう思われる方もいるかもしれません。

しかし、そういう話ではないわけです。

実は10円抜きの場合、目的が違うわけです。  
このエントリーポイントで**10円を確実に取る事の方がよっぽど重要**になります。

つまり、  
値幅を取る場合と、10円だけ取る場合とでは**考え方が全く変わってくる**ということです。

---

利益を上げる手段として、

値幅を取る時は、

**利食いの値幅を少しでも増やすことがポイントになります。**

一方10円抜きは、

**勝率を100%近くまで高めることがポイントになってくるわけです。**

検証データをもう一度ご覧下さい。

値幅	>10円	>20円	>30円	>40円	>50円	>60円
勝率	96.28 %	89.67 %	80.17 %	76.45 %	<b>70.66 %</b>	65.70 %

50円を目標値幅にした時の勝率は70%です。

仮にうまく取る事ができたとしましょう。

その場合、50円の利益になります。一方、10円抜きは成功しても利益は10円です。

10円抜きで利益を追求しようとするれば、値幅は10円です。あくまで勝率にこだわります。

**なぜなら、値幅を取らない代わりに枚数を増やすからです。**

仮に勝率70%で50円を取りに行くのであれば、

5枚出して勝率96%で10円を取りに行くほうが成功する可能性が高いわけです。

10円抜きは前述したように、**時間的リスクを最小限に抑えた取引です。**

値幅を30円、50円と増やした時よりも時間的リスクが最も小さい取引です。

**そのためデイトレの中でも特に枚数を増やすことができる取引です。**



---

仮に50円を狙えば枚数を張ることができません。  
いつひっくり返るか判らないため怖くて待ってられないわけです。

**本当に自信がある時は10円しか取りません。その代わり枚数を増やします。**

10円でも10枚張れば10万円です。100枚であれば100万円です。

検証データでは、20円でも確かに勝率は90%を越えています。

しかし、  
10円抜きよりも**余分にプラス10円の値幅がない**といけません。  
それだけ**余分に時間がかかります**。

枚数を張れば時間は意外と大きな問題です。

実際に枚数を張ったことがある人は実感が湧くと思いますが、  
「1秒」でも早く決済したいのが本音です。  
たった10円でも、枚数を張ればこれが大きいわけです。

だからこそ、  
**10円抜きは最も勝率の高い（値幅の動く）ポイントで念には念を入れ、  
最善を尽くしてエントリーする。この必要があるのです。**

10円抜きは、エントリーした時に大きく張ることができるため、  
**短期間に手持ち資金を最大限に活用することができるというメリットがあります。**

これが10円抜きの最大の魅力です。

---

序章 たかが10円されど10円

### 0-3 実践で10円抜きを行うために

とはいっても、、、

今は（2009年現在）、先物1枚張ろうとすれば、証拠金は110万円必要です。  
枚数を増やしたくても実際問題、資金的に張ることができない。。

と、思われるかもしれません。

ご安心下さい。

10円抜きを行う時は必ず枚数を増やしてください。と言っているわけではありません。  
反対に資金があったとしてもいきなり枚数を増やすことはできません。

実際問題、

枚数を増やすと言っても言葉で言うほど簡単なことではありません。

実際に注文を出そうとすると普通の人には怖くて注文できません。

（度胸の問題ではありません）

まずは、

10円を確実に取れるよう毎日コツコツ10円を取って下さい。

そして、利益を積み上げられるようになって下さい。

その結果、増やした利益で少しずつ枚数を増やしてください。

負けてもいつでも取り返せるという自信が次の取引につながります。

**この自信がなければ枚数を張ることはできません。**

---

序章 たかが10円されど10円

## 0-4 10円抜きの戦術を行う上での2つの明確なポイント — 売買のタイミング —

デイトレで勝率を上げるにはどうしたらいいか??

ただ単純に勝率を上げようとするれば、  
最初に思い浮かぶのが「目標値幅を少なくする」ということです。

しかし、  
単純に目標値幅を小さくすればいいのでしょうか?

例えば、  
10円抜きで10回挑戦して、8勝2敗だとします。

10円抜きですので、8回勝てば80円です。  
負けた時のロスカットの金額が40円だとすると損失は2回で80円です。

つまり、  
8回勝ったとしても蓋を開けてみればたった2回の負けで利益がなくなってしまうわけです。

10円抜きは、1回チャレンジする時の目標が10円しかない分、  
単に勝率を上げるのではなく、**できる限り勝率を100%近くまで引き上げる。**  
このことがポイントです。

今回紹介する10円抜きで行うポイントは2箇所です。

	挑戦	成功	失敗	勝率
ポイント1	242回	233回	9回	96.28%
ポイント2	241回	218回	23回	90.46%
合計	483回	451回	32回	93.37%

※ 2008年1月4日～2008年12月30日

J式ブレイク手法は、徳山電子（株）の小嶋二郎先生が生み出したデイトレ手法です。  
10円抜きは、J式ブレイク手法で用いるエントリーポイントを用います。

このエントリーポイントは、小嶋先生によって、**理論的根拠に基づき**、  
2000年から2008年に渡って実践検証されたエントリーポイントです。

---

実は、このポイントは単に勝率が高いだけではありません。

もう一つ、

株価が**勢いよく動くポイント**を捉えているという特徴があります。

このポイントで、

株価が突然50円、60円動くということもよくあることです。

そのため、このポイントで**値幅を狙う事も十分に可能**になります。

値動きのあるポイントで10円しか取らない。

そのため、この教材でお伝えするエントリーポイントが他のポイントと比べて

はるかに勝率が高くなるわけですが、

問題は、

そこまでして10円を確実に取ろうとするところに10円抜きを行う本当の意味があります。

10円抜き戦術を行うためのポイントの一つ目は、

**最も勝率の高い、明確な売買ポイントを知る**ということです。

10円抜き戦術で成功するための一つ目の重要なポイントになります。

---

序章 たかが10円されど10円

## 0-5 10円抜きの戦術を行う上での2つの明確なポイント — 値幅の問題 —

10円抜きで利益を上げるために勝率をできるだけ上げる。

つまり、

過去の検証データから一番勝率の高いポイントで売買を行う。

このことが10円抜き戦術の1つ目のポイントです。

しかし、いくら勝率が高くても負けることは必ずあります。

問題は、

思惑通りいかなかった時にどのような対応をするか？

その対応の仕方を知らなければ、

いくら勝率の高いエントリーポイントを知っていても、トータルで負けてしまいます。

10円抜きだからこそ適切なポイントでロスカットをしないと、

1回の負けで利益がなくなってしまうという可能性も十分にあります。

今回お伝えするエントリーポイントで、

「株価が大きく動くことがある」ということを前述しました。

実は、それには理論的根拠が背景にあります。

そのため、**ロスカットのポイントも然るべきポイントでロスカットをする必要があります。**

つまり、

このまま注文を持ち続ければ戻る可能性があるのか？（利食いになるのか）

あるいは、損失が拡大するのか？（損切りになるのか）

そのポイントを見極めて冷静にロスカットを行わなければなりません。

10円抜き戦術を行うためのポイントの2つ目は、

**理論的根拠に基づく明確なロスカットのポイントを知ることになります。**

---

序章 たかが10円されど10円

## 0-6 10円抜きで利益を出すために

この教材では、

「勝率の高いポイントでの明確な売買のタイミング」  
「理論的根拠に基づく明確なロスカット方法」

この明確な2つのポイントをお伝えします。

しかし、それだけではまだ十分ではありません。

**日経225デイトレを行う最大の目的は利益を上げることです。**

10円抜きで成功するために、  
**コツコツ積み上げた利益を守らなければなりません。**

そのために、  
負けた時にいかに損失を小さくできるか？  
つまり、損失を圧縮する方法をお伝えします。

この方法を用いて、負けた時の損を取り返す方法を知ります。

負けてもすぐに取り返せるという自信が次のトレードにつながります。

10円抜き戦術を行うのに欠かせないもう1つの重要なポイント、  
それは、**ロスカットを小さくする方法を知ること**です。

---

仮に10円抜きがほぼ確実にできたなら……

それはスゴイことです。

例えば前場と後場で10円をそれぞれ1回ずつ取ります。

仮に100%成功したら20円取れます。

これが1ヶ月できたなら、40万円/枚以上の利益になります。

最低証拠金が仮に50万円とすれば月2倍とはいきませんが、  
利回りはとても大きな数字になります。

10円抜きといえど馬鹿にできません。

本教材では、10円抜きを実践で行うにあたって  
初心者の方でも容易に学べるよう体系的に作成いたしました。

あなたの投資手法に10円抜き戦術が1つ加わり、  
状況に応じてうまく10円抜きを行うことで今までとは違った利益を生み出す。

その為に必要な日経225デイトレの秘策を惜しみなく記載しております。

10円を確実に取れるということは本当にすごいことです。

2009年度版10円抜きテキスト、  
何度も読んでしっかりモノにして下さい。

前置きが長くなりましたが、

それでは、早速10円抜き講座をはじめたいと思います！  
お付き合いの程宜しくお願いします。

---

## 著者プロフィール

### ■ ジャパンストックコーポレーション 山口 真幸

小嶋氏との出会いから、独自にインターネットビジネスとJ式理論を融合させ、様々なビジネスモデルを考察、株式投資では「相場で勝つための株式投資戦略」、日経平均先物では「3年連続勝率88%以上の投資術！平均利回り280%以上のノウハウ公開」等のセミナーを主催。現在では、セミナー・DVD・テキストなどの様々なメディアを通じてJ式独自の手法を一人でも多くの投資家へ発信している。

### 【主な教材】

日経225セミナーシリーズテキスト 著者

- ・ たかが10円されど10円驚異の勝率で市場を出し抜く！日経225 10円抜きセミナーテキスト
- ・ 値幅を取って逆行をものにす！10円抜き応用 値幅追求セミナーテキスト

会員用教材著者

- ・ 日経225先物デイトレ 出来高分析の急所（OBV分析前編）
- ・ 日経225先物デイトレ 相場エネルギーを利用してトレンドに乗る実践方法（OBV分析後編）

その他セミナー主催

- ・ デイトレでワンランク上の投資家になる「10円抜き」強化！値幅追求セミナー
- ・ 日経 225 デイトレで『小遣い』稼いで、スイングで『蔵』を建てる!?  
…上昇相場で現金を生み出す定石の打ち方… など。

### ■ 徳山電子株式会社 小嶋 二郎

三菱電機退社後、株式分析ソフトのさきがけとして27歳でシステム開発会社を設立。

その後28年間の山あり谷ありの相場の中で、独自の株式理論を実践検証し続け、J式株式分析、J式MP分析を生み出す。

ある時は投資家、ある時はソフト開発者という両面を持つ氏から生み出されたソフトはソフト開発業者よりではなく、あくまで投資家にとって使いやすいと評判。

現在はJ式ソフトの開発を続ける一方、個人投資家向けに「J式研究会」を運営。